

私たちの活動や意見を仲間で共有します。
会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2020年1月15日 第335号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//heiwatutiura.web.fc2.com/

2020年、武力行使から平和は訪れない 安倍政治との決別こそ最大の課題 平和への脅威をなくす運動の輪を大きく発展させよう

安倍政権による国政と税金の私物化に対する怒りが燃え上がった2019年が終わり2020年の幕があきました。早々から、中東での武力衝突が勃発し、世界平和への危機が懸念されています。武力による威嚇や武力行使によってもたらされるのは怒りと憎しみの連鎖のみであり決して平和は訪れません。

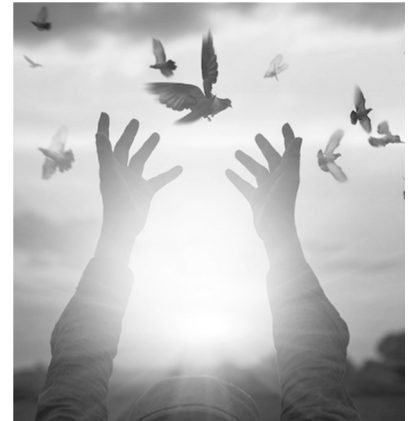
先の戦争で大きな犠牲を被るとともに加害者としての大きな責任を負っている日本、同時に人類最初の原爆被害を体験した日本の政治家がいまなすべきは関係諸国に対して武力の行使に断固として反対し、紛争の話し合いによる解決を強く求めることではないでしょうか。しかし、残念ながら安倍政権にそうした確固とした姿勢を期待する事はできません。

去年は市民と野党の共同が前進し、参院選で

改憲発議に必要な3分の2を割らせた成果は貴重ですが、依然として安倍首相は改憲へのすさまじい執念を燃やしています。私たちの側にこれを打ち破る力の強化が求められています。

まもなく始まる通常国会を安倍政治との決別につなげるためにも、国会の外での私たちのたたかいが決定的に重要です。会の組織的前進もはかりながら力を合わせましょう。

(土浦平和の会理事会)



「3000万人署名」から 「改憲発議反対署名」へ継承

「土浦憲法共同センター」の統一行動
2019年は11回、102人参加・208筆
2年間の合計 42回、436人参加・1212筆

今年から新しい請願署名が開始されます。「安倍首相がねらう9条改憲No! 改憲発議に反対する全国緊急署名」です。



手をつなぎ、未来につなぐ。

憲法共同センターや九条の会などが加わる「全国市民アクション」の仲間が共同して取り組む署名です。安倍首相の改憲への執念に負けない粘り強いたたかいはますます重要であり、引き続きご協力をお願いします。

【請願事項】

1. 安倍首相らがすすめる憲法9条などの改憲発議に反対します。
2. 憲法を生かし、平和・人権・民主主義、生活の向上が実現する社会を求めます。

STOP 改憲発議



自衛隊を中東に送るな!

No War with Iran

(アメリカ、イランの武力衝突について 略)

国際社会が両国に自制を求め、軍事衝突を避けようと努力する中、安倍政権は空爆から3日後に「全ての関係国は外交努力を」と一般的に述べるにとどまり、中東への自衛隊派兵は予定通り行う旨を表明しました。

安倍政権は自衛隊派兵決定を撤回し、トランプ政権に対し軍事挑発をやめイラン核合意に復帰することを迫るべきです。

日本平和委員会声明(2020/1/7)より抜粋

「百里初午まつり」

2月11日(火) 正午～

(11時から模擬店・歌声)

会場：百里平和公園

主催：百里基地反対同盟

東海第2原発再稼働反対に向け「茨城県条例制定請求者署名」スタート

受任者登録、署名行動への参加など、2か月間の集中的な取り組みに参加を

東海第二原発の再稼働の是非を問う県民投票条例の制定を求める「茨城県条例制定請求者署名」が始まりました。

1月11日、いばらき原発県民投票の会は県南生涯学習センター(土浦市)で受任者(署名を集める人)が中心となって土浦市、阿見町地域の署名行動キックオフ集会を開き、3月6日までの2カ月に街頭宣伝、戸別訪問など旺盛な活動で目標を上回る署名を集めようと、意思統一を図りました。

現在、茨城県全体での受任者(署名を集める人)は目標の3,500人を超え、土浦市も目標170人に対し208人に達しています。目標の署名筆数は、有権者の1/50、県全体で5万筆、土浦では2,405筆以上が必要です。署名数は多いほどその重みは増します。なお、集めた署名簿は3月中に各自治体の選挙管理委員会へ提出、そこでの審査を経て5月に県知事に条例制定を本請求します。それを受けて県知事は6月の県議会に提案し、県議会での審議となります。

東海第二原発の再稼働に向けては、日本原電は東京電力の援助を含め3,000億円以上の巨額な安全対策工事費を投入し来年の再稼働に向け

準備を進めています。再稼働には県、東海村、周辺自治体の同意が必要とされていますが、大井川知事や周辺自治体の首長は再稼働の是非については明言を避けています。

半径30km圏内に96万人が居住、稼働してから41年も経過、周辺自治体は実効性のある避難計画もたてられない、こんな危険な東海第二原発の再稼働はごめんです。

県民投票は直接民主制的な性格をもつものであり、再稼働の是非を県民一人ひとりが直接意思表示することができる制度です。

土浦平和の会は「県民投票」の成功に向け市民や各種団体と共同して運動を進めています。受任者になる、署名行動に参加、カンパ等も含め多くの皆さんの協力を呼びかけます。受任者が多ければ多いほど署名活動も進みます。受任者には18歳以上の市内在住の有権者なら誰でも、署名期間中でもなれます。家族の署名を集めるだけでもかまいません。(近藤事務局長)



明けましておめでとうございます。

今年も平和のために草の根からの運動を広く展開していきましょう。

去年は、訪日したローマ教皇が「核兵器のない世界は可能であり必要である」と述べ印象的でした。核兵器禁止条約の発効まであと16か国になりました。4月にはニューヨークで原水爆禁止世界大会が開かれます。可能性は広がっています。

また一方では、新たな核軍拡の懸念がたかまっています。

トランプ大統領の無謀な中東での軍事行動、そしてそれに追従して自衛隊を中東に

派遣する安倍首相。そればかりか、アメリカの言いなりに、兵器を爆買いするなどペコペコ外交の安倍首相。

「保育の無償化」で園児が増える一方で保育士が増えず、保育の質が低下しているといわれています。犠牲になるのは子供たちだけです。兵器の爆買いをやめ、保育士の賃金を上げれば、保育士不足に四苦八苦している子育て中の母親に喜んでもらえます。平和

の問題はわたくしたちの生活に直結しています。

憲法9条に自衛隊を明記する安倍改憲発議、自衛隊の中東派遣を阻止しよう。

明けましておめでとうございます

今年も平和のために草の根からの運動をより広く展開していきましょう!!

岡田 安正 (土浦平和の会代表理事)



【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)：月額520円(送料含)